

家庭用電気機器

Household Electric Appliances

Acoustic appliances have become de luxe with fine sound quality and elaborate artistic design.

TV receivers of new model have been actively delivered, the main stream being in 16-in. and 19-in. types, while the color TV receivers of 16-in. type with superior performance have been delivered at low prices, gaining favorable comment especially since the period of the Tokyo Olympics.

Four kinds of electric washers of the automatic reversible vortex type, two kinds of the dehydrator type, a stirring type and a full-automatic type have been newly developed.

Electric fans in the year 1964 have been characterized by the introduction of remote control of the swing angle and fine artistic design. As for the electric refrigerators, in the anticipation of coming age of refrigerated food, its plus-freezer that had been highly spoken of was enlarged and a freezer adjuster was added.

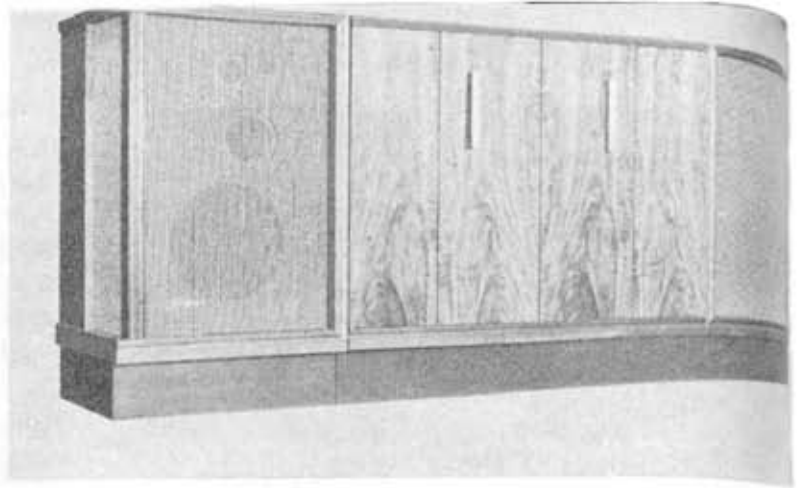


図 16.1 ファントジア ローヤル 1000

The de luxe stereo phonograph, "Fantasia Royal", Model 1000

16.1 ラジオ、音響機器

昭和 39 年度製品はデラックス化する反面、高性能の普及形製品にも力を注いだ。また FM 放送の実用化を迎え電蓄はプレーヤの自動化とともに、全機種 FM 付とし、中心機種は FM ステレオ受信装置を内蔵するようにした。そのほか新技術、新材料を使いデザイン、音質に数々の特長を持たせて、ざん新な製品の開発を実施した。

16.1.1 真空管ラジオ

全国各地で FM 放送が続々開始されている折から、FM 受信機の普及を目的とした 6 FM-30 形 (図 16.2) は、バックローズ方式キャビネット、どの方向から見ても美しく、消費電力の少ない経済的な機種である。

16.1.2 トランジスタラジオ

ポケット形には、オリンピックの年にふさわしい日の丸を象徴した 6 P-64 と「ヤングシックス」のペットネームで好評のブック形 6 P-66 (図 16.3) があり、いずれも厚さ 18 mm の薄形である。また 8 P-717 F はポケット形では初めての FM 付である。いずれも高性能で、かつ生産の合理化により普及価格の製品である。

中形機種には、タイマおよびトーンスイッチ付の 8 M-88S, FM

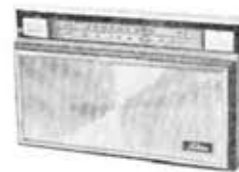


図 16.4 トランジスタラジオ 9 M-820 F

Transistor radio receiver, Model 9 M-820 F



図 16.5 トランジスタラジオ 10 L-830 F

Transistor radio receiver, Model 10 L-830 F

付でダイヤル前面が美しく発光する 9 M-820 F (図 16.4) がある。大形のもの、大出力を誇る 8 L-724 S および高感度 FM 付の 10 L-830 F (図 16.5) があり、両機種ともスピーカが大形であるためすばらしい音質である。

16.1.3 レコードプレーヤ

TP-41 (図 16.6) は G メタル使用の電動機により、長時間の演奏にも安定なプレーヤであり、半透明カバー付ツートンの美しいキャビネットのものである。

16.1.4 ポータブル電蓄

家庭用電源使用で手がるに持ち運びができる GP-18, およびリズム GP-25 のほかに、2 チャンネル回路組込のリズミーステレオ GP-



図 16.2 FM/AM ラジオ 6 FM-30
 FM/AM Radio receiver, Model 6 FM-30



図 16.3 トランジスタラジオ 6 P-66
 Transistor radio receiver, Model 6 P-66



図 16.6 レコードプレーヤ TP-41
 Record player, Model TP-41



図 16.7 ステレオポータブル電蓄 GP-22 S
 Stereo portable phonograph, Model GP-22 S



図 16.8 ファミリースtereoシリーズ FS-3500

Family stereo series,
Model FS-3500



図 16.9 ファミリースtereoシリーズ FS-4000 M

Family stereo series,
Model FS-4000 M

2S (図 16.7) がある。リズム GP-50C はトランジスタ式で、ハイキングのときなどに適している。なお AC アダプタをもちい家庭用電源での使用もできる。

16.1.5 ステレオ電蓄

(a) ファミリースtereoシリーズ 普及形としての FS-2800 および FS-3500 (図 16.8) は、オートプレーヤー付で FS-4000 M (図 16.9)、FS-6200 M (図 16.10)、FS-6500 M、FS-7000、FS-7600 および FS-8500 M (口絵) は、すべてセラミックハイコンプライアンスカートリッジ付オートチェンジャを装備し、7 枚のレコードの自動演奏ができる。また FS-4000 M、FS-6200 M、FS-6500 M および FS-8500 M は FM ステレオ受信装置を内蔵している。

(b) マイスタージナー No. 20 は高級ステレオ電蓄として 40 W の総合出力により、30 cm の大口徑ウーハを含む 6 個のスピーカからは、すばらしい臨場感をもって、ダイナミックチャンネル方式の音を聞かせてくれる。

(c) 豪華ステレオ ファンタジアローヤル 1000 (図 16.1) は最高級ステレオ電蓄として、レコードの自動演奏、FM ステレオ放送の受信はもとより、8 個のスピーカシステムによりダイナミックチャンネル方式の特長が十分に発揮される構成となっている。60 W の出力をもち、コンサート用として大ホールでも迫力のある演奏ができる。

16.1.6 電気オルガン

新たにスフォルツァンドシリーズに加えた E1 形 (図 16.11) は、従来にないモダンなスタイルの標準形で、求めやすい価格でもある。



図 16.10 ファミリースtereoシリーズ FS-6200 M

Family stereo series,
Model FS-6200 M



図 16.11 スフォルツァンドオルガン E1 形

Sforzando, Model E1

16.1.7 テープレコーダ

カレッジエースシリーズとして本年は簡易形のカレッジエースミニ GT-400 と標準形の GT-620 を発売し、さらに電池式ポータブルテープレコーダに新たに GT-490 P とハンディエース GT-500 P とを加えた。また特殊用途としてエンドレステープのプレーヤーであるオートガイド PT-200 E を発売、合計 5 種を本年の新機種として従来の品種に追加した。

GT-400 は従来のカレッジエースの需要層よりさらに若い世代を対象とした安価のもので、AC 電源で 3 号テープを使用し、小形ながらスピード、早送り装置なども備えている。

GT-620 (図 16.12) はカレッジエースの第三弾の機種で、610 を大幅に改良し、その特長はオールプラスチック製のスマートなキャビネットで、テープ速度の切替がつまみ式で操作が容易になり、増幅器をオールトランジスタ式にし、録音レベルの表示は見やすいメータを採用したなど面目を一刷新した製品である。

ポータブルの GT-490 P は 3 号テープ専用のメタルキャビネットの薄形で、テープ速度はつまみで切り換える。電池は単三 6 個と 00 P 1 個で、ダイナミックマイクロホンが前面にあり、そのままでもまたはずしても録音ができる。また GT-500 P (図 16.13) は 5 号テープまで使用でき、回転むらが少なく音質もすぐれ音量も十分である。電池は単二 6 個で十数時間の使用ができる。両種ともマイクロホンはリモコンスイッチがついているから録音状態を維持したままテープの起動停止ができる。また家庭用電源を利用するための AC アダプタを併売している。

オートガイド PT-200 E は人がいなくても工場案内、展示会、店頭などで商品などの説明ができる業務用の特殊テーププレーヤーで、エンドレステープを用い、リモコン起動、自動停止ができるので人件費の節約その他の効果を発揮する。増幅器は 3 W 出力のオールトランジスタ式で、かなりの聴衆を対象とすることができ、時には付属のマイクロホンで拡声装置としても利用できる構造となっている。

次に録音テープとしては「長時間 200%」の SW-3 形と世界で初めてといわれるホワイトテープ SC-2 形、それにエンドレステープ SER-5 を発売した。

SW-3 はテープのベースの厚さを標準の 1/2 とし、3 号のリールに従来の 2 倍の長さを巻き、録音再生時間は 5 号テープと同じである。ホワイトテープはベースを白色としたもので、文字、記号が容易に記入できる画期的な製品である。エンドレステープは特殊リール (マガジン) に巻かれており、テープの長さは約 80 m であるから一周でテープ速度 9.5 cm/s の場合連続 14 分である。これは前記オートガイドに使用するほか、普通のテープレコーダでも利用できる。この場合は供給側リール台に載せて使用する。



図 16.12 テープレコーダ GT-620

Tape recorder, Model
GT-620

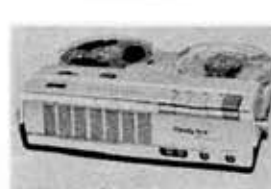


図 16.13 テープレコーダ GT-500 P

Tape recorder, Model
GT-500 P

16.2 テレビセット

昭和 39 年度における東芝テレビセットは、昨年に引き続き好評でその品質は早くから定評がある。生産台数も業界で一、二を争う